

まちづくり交付金 事後評価シート  
金沢文庫駅周辺地区

平成20年12月

神奈川県横浜市

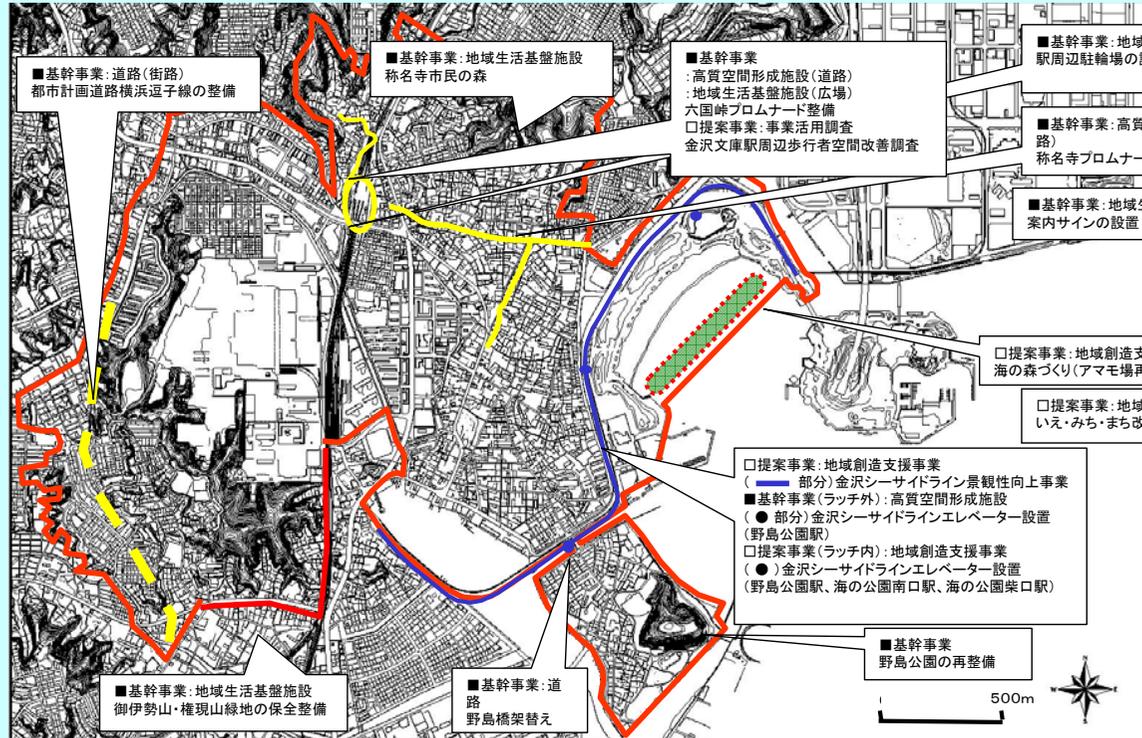
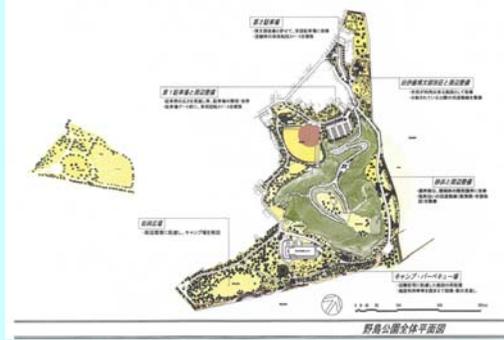
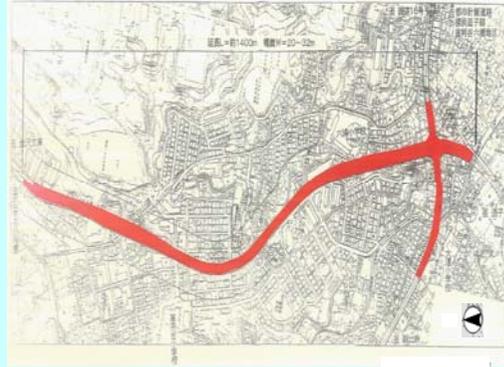
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	神奈川県		市町村名	横浜市		地区名	金沢文庫駅周辺地区			面積	506.3		
交付期間	H16～H20		事後評価実施時期	平成20年度		交付対象事業費	6,166	国費率	0.4				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		基幹事業		六国峠プロムナード整備、称名寺プロムナード整備								
			提案事業		まちづくり憲章作成推進調査、福祉のまちづくり重点推進調査、いえ・みち まち改善事業								
	当初計画から削除した事業		基幹事業		市道谷津坂467号線		事業の見直しにより、舗装補修の実施に併せて工事を実施することが、効率的であるため。		影響はない。				
			提案事業		なし								
	新たに追加した事業		基幹事業		都市計画道路横浜逗子線の整備、称名寺市民の森整備、駅周辺駐輪場の設置、野島公園の再整備、野島橋架け替え、御伊勢山・権現山緑地の保全整備		事業の見直しによる事業費の増加、事業手法の見直しによる事業費の減額。良好な景観を形成する樹林地の保全を図るため。		影響はない。				
			提案事業		金沢文庫駅周辺歩行者空間改善調査、案内サインの設置、海の森づくり(アマモ場再生)協働推進事業、金沢シーサイドライン景観性向上事業、金沢シーサイドラインEV設置		駅周辺の歩行者空間の快適性の向上のための改善、自然、地域資源を活かしたまちづくり事業の実施		影響はない。				
交付期間の変更		当初	H16～H20		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響								
		変更											
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み				
	指標1	金沢文庫駅1日あたり乗降客数	千人/日	69	H14年度	70	H20年度		74	○	ありなし	駅周辺の魅力づくりや歩行者空間などの改善により、乗降客数の増加につながった。	平成22年8月頃
	指標2	県立金沢文庫入館者数	人/年	55,921	H14年度	57,409(最高値)	H20年度		58,327	○	ありなし	当該施設への歩行者空間を整備したことが、来館者が増えた要因の一つでもある。	平成22年8月頃
	指標3	自転車等放置台数	台/日	324	H14年度	0	H20年度		239	△	ありなし	駐輪場の改修により、駐輪場台数が増加し、放置台数の減少につながる。	平成22年11月頃
	指標4	野島公園利用者数	指標	100	H15年度	106	H20年度		107	○	ありなし	公園内の魅力やアクセスの向上により、利用者数が増加した。	平成22年8月頃
	指標5	金沢シーサイドライン3駅乗降客数	千人/年	911	H16年度	918	H20年度		1,021	○	ありなし	自然を活かしたまちづくりやバリアフリー化などにより、乗降客数の増加につながった。	平成22年8月頃
	指標6	協働作業参加者人数	人/年	1,500	H16年度	2,500	H20年度		2,663	○	ありなし	アマモ播種事業により、まちづくり活動の輪が広がり、協働作業の参加者が増えた。	平成22年8月頃
指標7	緑の保全活動等に係る市民の人数	人	200	H18年度	250	H20年度		204	△	ありなし	愛護会等の管理やイベント活動に参加する人数の増加につながった。	平成22年8月頃	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度※1	達成見込み				
	その他の数値指標1												
その他の数値指標2													
4)定性的な効果発現状況	地域の自然・歴史資源や駅周辺のバリアフリー化が及び地区周辺と駅とを結ぶ歩行者空間が改善されたことにより、着実に金沢シーサイドライン鉄道3駅の乗降客数が増加し、効果が出たものと思われる。												
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況			今後の対応方針等						
	モニタリング	海の森づくり(アマモ場再生)協働推進事業		都市再生整備計画に記載し、実施できた					● アマモの播種活動に係わるイベント等を継続していきたい。				
	住民参加プロセス	海の森づくりアマモ播種事業		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した					●				
				都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									
				都市再生整備計画に記載し、実施できた					●				
持続的なまちづくり体制の構築	なし		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した					●					
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった										

## 様式2-2 地区の概要

金沢文庫駅周辺地区(神奈川県横浜市) まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
	指標	単位	従前値	評価	目標値	評価	従前値	評価
<p>称名寺や金沢文庫、御伊勢山・権現山など鎌倉時代からの歴史資源と野島や海の公園などの自然資源を活用した散策路ネットワークを地区内に形成し、景観的にも優れた歴史と自然に触れ合えるまちづくりを行う。そのため、地域の玄関口となる京浜急行金沢文庫駅のバリアフリー化及び当該地区周辺及び駅とを結ぶ道路の歩行者環境を改善し、駅に至るための街路整備を促進するとともに、海辺や市街地の緑の景観形成を行うことにより、誰にとっても安全・快適で誇りの持てるまちをつくる。</p>	金沢文庫駅1日あたり乗降客数	単位:千人/日	69	H14	70	H20	74	H19
	県立金沢文庫入館者数	単位:人/年	55,921	H14	57,409(最高値)	H20	58,327	H17
	自転車等放置台数	単位:台/日	324	H14	0	H20	239	H19
	野島公園利用者数	単位:指標	100	H15	106	H20	107	H19
	金沢シーサイドライン3駅乗降客数	単位:千人/年	911	H16	918	H20	1,021	H18
	協働作業参加者人数	単位:人/年	1,500	H16	2,500	H20	2,663	H19
	緑の保全活動等に係る市民の人数	単位:人	200	H18	250	H20	204	H19



**まちの課題の変化**  
 ・地区内の自然資源や歴史資源である緑や公園等が整備されたことにより、地域の魅力が向上し、観光客の増加につながったものと思われる。  
 ・また、駅周辺のバリアフリー化も事業により進んだため、金沢文庫駅周辺の利便性も向上した。

**今後のまちづくりの方策(改善策を含む)**  
 ・主たる主要駅周辺のバリアフリー化等の基盤整備はほぼ達成されたので、今後の効果の持続は自然資源や歴史資源の活用方策(ソフト)の問題となる。  
 ・称名寺市民の森や海の公園等、賑わい空間の持続のためのソフト的な取り組みは、NPO団体や愛護会等が主体となって推進し、行政は側面支援を行っていく。

# 都市再生整備計画 フォローアップ報告書

## 金沢文庫駅周辺地区

平成23年2月

神奈川県 横浜市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	金沢文庫駅1日あたり乗降客数	千人/日	69	70	74	確定 見込み ○	○	あり なし	74	H22年8月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	駅周辺の魅力づくりや歩行者空間などの改善により、乗降客数の増加につながった。
指標2	県立金沢文庫入館者数	人/年	55,921	57,409(最高値)	58,327	確定 見込み ○	○	あり なし	58,327	H22年3月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	当該施設への歩行者空間を整備したことが、来館者が増えた要因の一つでもある。
指標3	自転車等放置台数	台/日	324	0	239	確定 見込み ○	△	あり なし ●	67	H22年11月	△	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	駐輪場の改修により、駐輪台数が増加し、放置台数の減少につながった。
指標4	野島公園利用者数	指標	100	106	107	確定 見込み ○	○	あり なし	113	H22年8月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	公園内の魅力やアクセスの向上により、利用者数が増加した。
指標5	金沢シーサイドライン3駅乗降客数	千人/年	911	918	1,021	確定 見込み ○	○	あり なし	1,106	H22年8月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	自然を活かしたまちづくりやバリアフリー化などにより、乗降客数の増加につながった。
指標6	協働作業参加者人数	人/年	1,500	2,500	2,663	確定 見込み ○	○	あり なし	1,045	H22年8月	△	アマモ播種事業など大規模なイベントが一段落し平成22年度は参加者数が減少したが、協働作業は継続し市民に定着している。 <input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	アマモ播種事業により、まちづくり活動の輪が広がり、協働作業の参加者が増えた。
指標7	緑の保全活動等に係る市民の人数	人	200	250	204	確定 見込み ○	△	あり なし ●	210	H22年8月	△	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	愛護会等の管理やイベント活動に参加する人数の増加につながった。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1					確定 見込み				H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる		
その他の数値指標2					確定 見込み				H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる		
その他の数値指標3					確定 見込み				H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる		

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

## 2. 今後のまちづくり方策の検証

### 様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	魅力ある地域資源のPR	アマモ再生のための播種イベントを毎年開催。	アマモ播種事業などにより、まちづくり活動の輪が広がり、協働作業の参加者が増えた。	アマモ播種事業など大規模なイベントが一段落し平成22年度は参加者数が減少したが、協働作業は継続し市民に定着している。今後も魅力あるイベントの企画やPR活動を積極的に推進し、豊かな海辺の再生事業を定着させ活動の輪を広げていく。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	施設整備されたハードの有効活用	自転車駐車場の再整備。	駐輪場の再整備により、駐輪場収容台数が増加し、放置台数の減少につながった。	鉄道事業者や市民などとの協働により、放置自転車の解消に向けたPR活動などのソフト施策を積極的に実施することで、引き続き放置自転車0台に向けた施策を推進していく。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

### 様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項

# 都市再生整備計画(清算報告)

かなざわぶんこえきしゅうへんちく  
金沢文庫駅周辺地区

かながわけん よこはまし  
神奈川県 横浜市

・様式は、A4長辺側を、2箇所ホチキス留めすること。

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	神奈川県	市町村名	横浜市	地区名	金沢文庫駅周辺地区	面積	506.3 ha
-------	------	------	-----	-----	-----------	----	----------

計画期間	平成 16 年度 ~ 平成 20 年度	交付期間	平成 16 年度 ~ 平成 20 年度
------	---------------------	------	---------------------

目標

称名寺や金沢文庫、御伊勢山・権現山など鎌倉時代からの歴史資源と野島や海の公園などの自然資源を活用した散策路ネットワークを地区内に形成し、景観的にも優れた歴史と自然に触れ合えるまちづくりを行う。そのため、地域の玄関口となる京浜急行金沢文庫駅のバリアフリー化及び当該地区周辺及び駅とを結ぶ道路の歩行者環境を改善し、駅に至るための街路整備を促進するとともに、海辺や市街地の緑の景観形成を行うことにより、誰にとっても安全・快適で誇りの持てるまちをつくる。

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

金沢文庫駅周辺地区は、江戸期以前から形成されてきた古い市街地で、道路網が脆弱であるなどの問題を抱えています。また、駅東側には十分な交通広場がないことにより、駅前の交通機能が低下するとともに、商店街のかつての活気も失われつつあります。そのため、駅東側では、交通基盤の充実を図ること、地域の活性化や防災性の向上に向け、平成6年からまちづくり懇談会を設け、再開発の検討を継続してきています。

その一方、まちづくりの基本方針を定めるため、平成12年12月に策定した都市計画マスタープランの金沢区プランでは、「横浜市の地域拠点として、商業、業務、文化などの都市機能が集積するとともに、身近に海辺の環境が楽しめる」金沢圏域の中心的地区として、また、区役所をはじめとした行政機能が集積していることから、区心としてのまちづくりを進めることとしています。

これを受け、地区のまちづくりの目標と方針を定めるため、平成14年度から、自治会組織を中心にした「金沢文庫駅東側地区まちづくり協議会」を地元を設置し、都市計画マスタープランの地区プラン策定に向けた取組みを行っているところです。

課題

(1) 称名寺や金沢文庫などの史跡が数多く存在するとともに、野島、海の公園、称名寺市民の森、御伊勢山・権現山などの自然資源も豊かに存在しているが、玄関口となる金沢文庫駅へ至る街路の一部やこれらを回遊する散策路や案内板等が整備されていないため、地域資源が有効に活用されていない。また、このような良好な自然資源が豊富にあり、海辺に至る遠景等の景観面にも特に配慮が必要な地域ではある。また、市街地の良好な景観を形成する樹林地の保全や活用が求められている。長大な構造物で重要な景観要素のひとつとなっている金沢シーサイドライン等については、色彩面等において周辺の景観にマッチしていない状況であり、改善を図るべき事項となっている。

(2) このような歴史資源・自然資源を訪ねる観光客や、高齢者・障害者・乳幼児を連れた親子連れなど様々な地域住民が、玄関口となる金沢文庫駅を利用しているが、駅には上りエスカレーターしかない利用しづらい駅となっており、バリアフリー環境の充実が求められている。

(3) 駅周辺の道路等においても、段差の低減や放置自転車の削減など、歩行者空間の安全性・快適性の向上が課題となっている。

将来ビジョン(中長期)

地区の将来ビジョンについては、都市計画マスタープラン地区プランによるまちづくりの目標と方針を策定するための取組みを行っているところである。現在、「四季の緑と潮の音 安心と歴史のまちかど」の将来像のもとに、3つの目標を定めている。

目標1 災害への備えも整えた安全に暮らせるまち

目標2 歩行者にやさしいバリアフリー環境の充実を進めるまち

目標3 海・山・史跡 地域資源を大切にすまち

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	目標値	
					基準年度	目標年度
金沢文庫駅1日あたり乗降客数	千人/日	金沢文庫駅年度乗車人員(事業者調べ)×2÷365日	まちの魅力向上・駅バリアフリー化により利用者が増加する	69	平成14年度	70 平成20年度
県立金沢文庫入館者数	人/年	年間入館者(施設調べ)	まちの魅力向上・アクセス道路の改善により入館者が増加する	55921	平成14年度	57409(最高値) 平成20年度
自転車等放置台数	台/日	条例で指定する禁止区域内の放置台数(横浜市調べ)	駐輪場整備や住民意識啓発により放置自転車等が減少する	324	平成14年度	0 平成20年度
野島公園利用者数	指標	野島公園利用者数(有料施設)	駅バリアフリー化・アクセス道路改善、街路整備及び野島公園を再整備することで利用者が増加する	100	平成15年度	106 平成20年度
金沢シーサイドライン3駅乗降客数	千人/年	エレベーターを設置する3駅の年度乗降客数	まちの魅力向上・駅バリアフリー化により利用者が増加する	911	平成16年度	918 平成20年度
協働作業参加者人数	人/年	播種作業などの協働作業の参加者	まちづくり活動の輪が広がり、参加者が増加する	1500	平成16年度	2500 平成20年度
緑の保全活動等に係る市民の人数	人	緑の保全に係る活動に参加した市民の延べ人数	市民参加により緑の保全・活用に係る活動が行われる	200	平成18年度	250 平成20年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区内の歴史資源・自然資源を回遊する散策路ネットワークを整備する事業</li> </ul>	称名寺ブロムナード整備事業 六国峠ブロムナード整備事業 海の森づくり(アマモ場再生)協働推進事業 野島公園再整備事業(公園事業) 都市計画道路横浜逗子線(街路事業) 称名寺市民の森の保全整備 御伊勢山・権現山緑地の保全整備
<ul style="list-style-type: none"> <li>・駅及び駅周辺道路における歩行者空間の安全性・快適性向上を図る事業</li> </ul>	駐輪場整備事業 野島橋の架替え 金沢シーサイドラインエレベーター設置
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然資源など地域の特性に配慮した景観形成を行う事業</li> </ul>	金沢シーサイドライン景観性向上事業
その他	

交付対象事業等一覧表

交付対象事業費	6,266	交付限度額	2,506	国費率	0.4
---------	-------	-------	-------	-----	-----

(金額の単位は百万円)

基幹事業														
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
道路	道路	野島橋	横浜市	直	約58m	16年	20年	16年	20年	1,811	1,811	1,811		1,811
	街路	都市計画道路横浜逗子線	横浜市	直	1,400m	16年	20年	18年	20年	18,500	1,741	1,741		1,741
公園		野島公園	横浜市	直	17.7ha	18年	20年	18年	20年	380	380	380		380
河川														
下水道														
駐車場有効利用システム		-			-									
地域生活基盤施設		六国峠プロムナード・駅周辺駐輪場	横浜市	直	-	16年	20年	16年	20年	292	292	292		292
地域生活基盤施設		称名寺市民の森	横浜市	直	10.7ha	19年	20年	19年	20年	60	60	60		60
地域生活基盤施設		御伊勢山・権現山緑地	横浜市	直	12ha	19年	20年	19年	20年	990	990	990		990
高質空間形成施設		称名寺・六国峠プロムナード	横浜市	直	-	17年	20年	17年	20年	10	10	10		10
高質空間形成施設		金沢シーサイドライン(野島公園駅等)	横浜市	直	1箇所(ラッチ外)	20年	20年	20年	20年	107	107	107		107
高次都市施設		-			-									
既存建造物活用事業		-			-									
土地区画整理事業														
市街地再開発事業														
住宅街区整備事業														
地区再開発事業														
バリアフリー環境整備促進事業														
優良建築物等整備事業														
住宅市街地総合整備事業	拠点開発型													
	沿道等整備型													
	密集住宅市街地整備型													
	耐震改修促進型													
街なみ環境整備事業														
住宅地区改良事業等														
都心共同住宅供給事業														
公営住宅等整備														
都市再生住宅等整備														
防災街区整備事業														
合計										22,150	5,391	5,391		5,391

…A

提案事業														
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
地域創造	いえ・みち・まち改善事業		横浜市	直		17年	18年	17年	18年	10	10	10		10
地域創造	金沢シーサイドラインエレベーター設置	金沢シーサイドライン(野島公園駅等)	横浜市	直	3箇所(ラッチ内)	17年	19年	17年	19年	342	342	342		342
支援事業	金沢シーサイドライン景観性向上事業	金沢シーサイドライン	横浜市	直	約2700m	17年	20年	17年	20年	497	497	497		497
支援事業	海の森づくり協働推進事業	海の公園	横浜市	直	約6000m	18年	20年	18年	20年	16	16	16		16
事業活用調査	金沢文庫駅周辺歩行者空間改善調査	-	横浜市	直	-	17年	17年	17年	17年	3	3	3		3
まちづくり活動推進事業	まちづくり憲章作成推進調査	-	横浜市	直	-	16年	17年	16年	17年	6	6	6		6
まちづくり活動推進事業	福祉のまちづくり重点推進調査	-	横浜市	直	-	16年	16年	16年	16年	1	1	1		1
合計										875	875	875		875

…B

(参考)関連事業													
事業	事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模	(いずれかに○)				事業期間		全体事業費		
					直轄	補助	地方単独	民間	開始年度	終了年度			
エレベーターの設置	金沢文庫駅	鉄道事業者	国土交通省	4箇所		○			17年度	17年度	320		
合計											320		

合計(A+B) 6,266